Janis 株主通信

第78期 Business Report

平成23年4月1日~平成24年3月31日

Contents

決算ハイライト	0
トップメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
トップインタビュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
会社概要	9
株式情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10



ジャニス工業株式会社

証券コード:5342

Financial Highlight 決算ハイライト



















トップメッセージ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し 上げます。

さて、ここに第78期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。 株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援と ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 山川 芳範

事業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響、欧州の債務危機を背景にした世界経済の減速、タイの洪水による被害等により依然として厳しい状況にあります。また年初以降円安に伴う株価回復の兆しや、個人消費の底硬い推移等景気の持ち直しの動きが見える一方、原油高の高騰、電力供給の不安等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社関連業界におきましては、新設住宅着工戸数が平成23年9月以降に前年比マイナスに転じるものの、住宅ローン減税、復興支援・住宅エコポイントの景気対策や復興需要もあり、平成24年2月以降再びプラスに転じました。その結果、年間での新設住宅着工戸数が前年比プラスとなり、緩やかではありますが、持ち直しの傾向が見えてまいりました。

こうした状況の中、営業体制を強化し、「フロントス

リム」トイレを中心とした自社ブランド販売の強化を 進めてまいりました。新商品としてフロントスリムの最 上位機種としてタンクレストイレ「スマートクリン」を 発売し、ラインナップ充実を図るとともに、拡販に注 力してまいりました。また、安定的な売上高を確保す る中で、震災復興支援による需要もプラスに働き、工 場稼働率の向上を進めてまいりました。全社で取り組 んでおりますコスト削減活動「スリム30」により、生 産部門では製造原価低減活動を推進し、営業・開発・ 管理部門でも徹底したコスト管理を行い、収益率の 向上に努めてまいりました。

その結果、当事業年度の売上高は、4,467百万円 (前年同期比329百万円増)、営業利益は211百万円 (前年同期比74百万円増)、経常利益は228百万円 (前年同期比82百万円増)、当期純利益は147百万円 (前年同期比69百万円減)となりました。



トップインタビュー

2 来期(平成25年3月期)の見通しについてお聞かせください。

A 国内景気は、東日本大震災の影響、欧州の債務危機を背景にした世界経済の減速等、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。当社を取り巻く環境は、新設住宅着工戸数の低水準での推移、原油・原材料価格の高騰、企業間競争の激化など、引続き厳しい状況が続くものと思われます。

売上高につきましては、お客様にお役立ちできる『戦略的需要創造型提案営業』を推進し、Janisブランドを構築していくことを考えております。また、新たに立ち上げ

ました『特販事業部』により、独自のリフォーム市場を創り上げ、新たな事業の柱としていくことを考えております。

損益につきましては、『業績を尊重する精神』を全社員が常に意識し、製造原価の低減、販管費の圧縮により、 利益確保を進めてまいります。

こうした取り組みを全社員一丸となり推進し、来期の 業績見通しである、売上高4.500百万円、営業利益210 百万円、経常利益240百万円、当期純利益190百万円を 達成していきたいと考えております。

Q2 株主還元についてどのようにお考えですか。

A 当社では、株主の皆様への利益還元を経営の重要 な施策の一つとして位置付けており、将来における 企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部 留保を確保しつつ、安定的な利益還元を行うことを基本方

針としております。

平成24年3月期の期末配当金は、1株当たり2円といたしました。

来期につきましても、1株当たり2円を予定しております。

第3次中期経営計画(平成24年4月~平成27年3月)

スローガン『需要を創造し、社会に広く認知されたJanisブランドの構築』

● 『日本ブランド』の衛生機器メーカーとして、国内外の特色ある企業とのコラボレーションを推進し、リフォーム事業など事業基盤の拡大を図ってまいります。

基本方針

- 7が技術(水を巧みに扱う技術)で世界の頂点を目指し、『フロントスリム』トイレの更なる高付加価値化により、トイレ文化に貢献いたします。
- 3 『世界一低コストの製造力』で、お客様にお役立ちができる『提案営業』を推進し、 社員一同『業績を尊重する精神』を貫き、継続的に業績を確保してまいります。



3 第2次中期経営計画総括と第3次中期経営計画についてお聞かせください。

A 当社は、平成21年6月に現社長の就任とともに、 平成21年4月から平成24年3月までの3ヵ年を 対象期間とした「第2次中期経営計画」を策定し、『安定 的な経営基盤の構築』をスローガンに経営体制を一新 し、財務体質の健全化と安定的に黒字を出せる体質へ と転換を図ってまいりました。

その間の主な施策としましては、Janis自社ブランド品のセット販売を強化するため、平成23年7月に発売したタンクレストイレ『スマートクリン』を仕上げとするフロントスリムトイレのラインナップの充実を進めてまいりました。

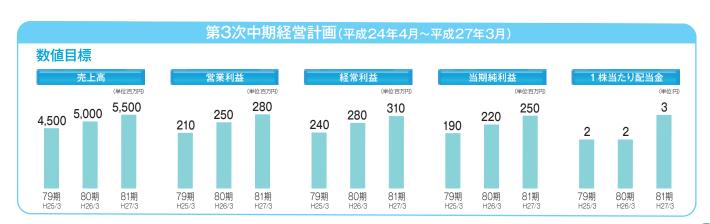
生産面ではOEM先の新規獲得等による生産量の確保や、3ヵ年で製造原価の3割を低減させていく『スリム30』を展開し、利益が出せる体質となってまいりました。 財務面では、平成22年6月に資本構成の見直しによる利益剰余金の積立不足を縮小させ、平成23年3月

には遊休不動産である旧大曽工場跡地の売却を完了し 剰余金も黒字に転じ、計画より一年前倒しで平成23年 6月に復配を実現するに至りました。

また、無担保社債の発行、コミットメントラインの締結など機動的かつ安定的な資金調達体制を構築し、平成22年11月から自己株式取得を再開し、復配と共に企業価値向上に努めてまいりました。

こういった一連の施策により、第2次中期経営計画の最終年に当たる平成24年3月期におきましても、昨今の厳しい市況環境の中ではありますが、営業利益など各利益段階で安定的に黒字を確保できるまでにいたりました。

このように継続的な黒字体質への転換が図れたことから、平成24年4月から平成27年3月までを対象期間とした[第3次中期経営計画]を策定いたしました。





トピックス

世界最大級の住宅設備関連展示会

「第17回国際キッチン&バス設備展覧会 2012」に初出展しました。

E -



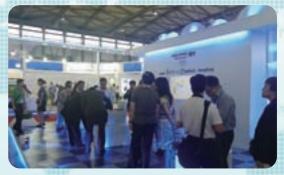
主 催	会 期	会 場	
上海環球展覧有限公司	2012年5月23日(水)~26日(土) 4日間	上海新国際博覧中心(上海市) 1~17ホール	

● 国際キッチン&バス設備展覧会

1996年より毎年上海で行われている世界最大級の住宅設備・建材の総合展示会。 キッチン・トイレ・バス内装製品および建築・建材などが展示され、今年で17回目を迎えました。 出展会場である上海新国際博覧中心は、 上海万博の会場だった場所です。



弊社出展ブースがあるN5ホール外観。



会期中のブース風景。

コンセプトモデルのトイレを展示。中国・韓国・マレーシア・日本・欧州等世界各国のプロが来場。



電源のない場所でも使える業界初の節水トイレを展示

新節水トイレ コンセプトモデル AquaSavior-1



乾電池を使用し、災害・停電時でも水道が使用できれば普 段通りにリモコンで洗浄ができます。 災害に強いタンク式ローシルエットトイレです。

フロントスリム採用

節水4.8リットル

ロングライフ設計



決算の概要

● 貸借対照表の概要 (単位:百万円)

当事業年度末 前事業年度末 (平成23年3月31日現在) (平成24年3月31日現在) 資産合計 資産合計 4.398 4,534 流動資産 2,086 流動資産 1.947 固定資産 固定資産 2.450 2.447

前事業年度末 当事業年度末 (平成23年3月31日現在) (平成24年3月31日現在) 負債·純資産合計 負債·純資産合計 4.398 4.534 流動負債 1,212 流動負債 1.160 固定負債 固定負債 1.055 1.124 純資産 純資産 2.266 2.112

財政状況について

流動負債

流動負債は、前事業年度末に比べて、51百万円増加して1,212 百万円となりました。これは主として、未払金の増加84百万円、支 払手形の増加59百万円、1年内償還予定の社債の増加33百万円 と1年内返済予定の長期借入金の減少79百万円、短期借入金の 減少50百万円によるものであります。

固定負債

固定負債は、前事業年度末に比べて、68百万円減少して1,055百万円となりました。これは主に、再評価に係る繰延税金負債の減少55百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、17百万円減少し 2.268百万円となりました。

純資産

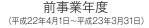
純資産は、前事業年度末に比べて、153百万円増加して2,266 百万円となりました。これは主に当期純利益の計上による繰越利益剰余金の増加106百万円、土地再評価差額金の増加55百万円によるものであり、自己資本比率は50.0%となりました。



5

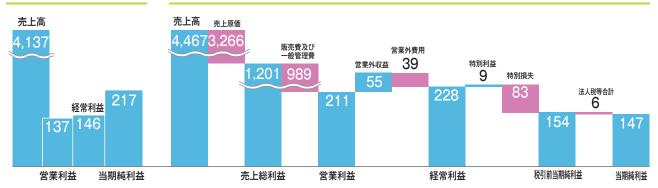


● 損益計算書の概要 (単位: 百万円)



当事業年度

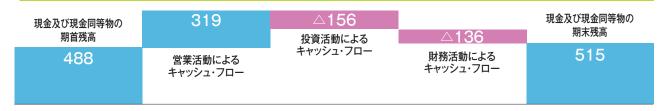
(平成23年4月1日~平成24年3月31日)



● キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: EDFI)

当事業年度

(平成23年4月1日~平成24年3月31日)



営業活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度における営業活動による資金の増加は、319百万円(前事業年度は491百万円の増加)となりました。主な内訳は、税引前当期純利益154百万円、減価償却費147百万円、役員退職慰労金50百万円による資金の増加と、たな卸資産の増加75百万円による資金の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度における財務活動による資金の減少は、136百万円(前事業年度は810百万円の減少)となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出166百万円、短期借入金の純増減額50百万円、配当金の支払額36百万円による資金の減少と、長期借入れによる収入100百万円による資金の増加によるものであります。



个工作优安 (平成24年6月28日現在)

当社の概要

商 号 ジャニス工業株式会社

設 立 昭和10年5月6日

資 本 金 1,000,000千円

本 社 〒479-8577

愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地

電 話 TEL〈0569〉35-3150(代表)

事業内容 衛生設備機器の製造販売

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

役員

代表取締役社長 山川 芳範 杉江 泰紀 締 取 役 取 締 役 谷口 敏彦 取 締 役 宇野 正敏 締 和伸 取 役 富本 常勤監査役 水野 修 監 杳 役 平本 公彦 監 杳 役 森田 雅也,

事業所·工場



本社 〒479-8577

愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地

営業本部 〒479-8577

愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地

東日本支店 〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2-18-20 ECORICH高田馬場2F

西日本支店 〒577-0045

大阪府東大阪市西堤本通東1丁目1番1号 東大阪大発ビルディング

東北営業所 〒982-0003

宮城県仙台市太白区郡山字上野3番地の3

◆ 九州営業所 〒838-0015

福岡県朝倉市大字持丸701-1 花田ビル4F

● 本社工場 〒479-8577

愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地

● 大野工場 〒479-0866

愛知県常滑市大野町2丁目18番地

● 久米工場 〒479-0002

愛知県常滑市久米字御林298-1



株式情報(平成

(平成24年3月31日現在)

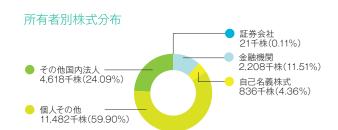
株式の状況

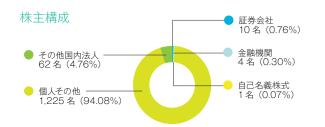
発行可能株式総数 73,000,000株 発行済株式の総数(自己株式836,928株を含む) 19,167,715株 株主数 1,302名 単元株式数 1,000株

大株主		
株 主 名	持株数(千株)	持株比率 (%)
タカラスタンダード株式会社	2,076	11.3
ジャニス工業取引先持株会	1,403	7.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	910	5.0
株式会社LIXIL	900	4.9
株式会社三井住友銀行	585	3.2
伊奈輝三	575	3.1
中央三井信託銀行株式会社	500	2.7
伊奈喜代	405	2.2
井上光弘	382	2.1
株式会社木村技研	364	2.0

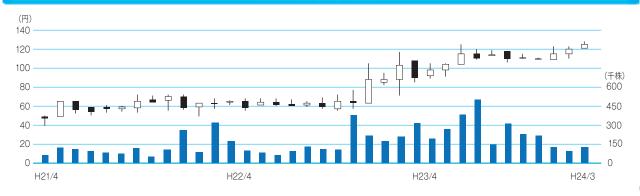
- (注) 1. 当社は、自己株式836,928株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 中央三井信託銀行株式会社は、平成24年4月1日付で、住友信託銀行株式会社、中央
 - 2. 中央三井信託銀行株式会社は、平成24年4月1日付で、住友信託銀行株式会社、中央 三井アセット信託銀行株式会社と合併し、三井住友信託銀行株式会社となっており ます。

株主の分布





株価・出来高の推移





株主メモ

年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基 В 進 毎年3月31日(そのほか必要な場合は、あらかじめ公告いたします。)

定時株主総会 6月中

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

同ご照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(郵便物送付先電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

同 取 次 窓 口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

公告掲載方法 当社ホームページ(http://www.janis-kogyo.co.jp/)に掲載

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をする

ことができない場合は、日本経済新聞に掲載

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について株主様のお取引証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である 三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



コロマップを表現します。 ジャニス工業株式会社 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地

